

# 令和元年度岩手県電気事業会計決算概要

岩手県企業局

- **供給電力量**は、水力発電で出水率の減等により、**前年度比7.1%減の5億4,821万kWh余**となったものの、**電力料収入**は、売電単価の高い高森高原風力発電所の電力量の増等により、**前年度比0.1%増の62億円余**となった。
- **経常収益**は、この収入増等により**前年度比0.2%増の65億1千4百万円余**となり、**経常費用**は、修繕費の減等により**前年度比2.3%減の52億2千4百万円余**となった。
- この結果、**経常利益**は、**前年度比12.1%増の12億8千9百万円余**となり、**純利益**は、特別損失を計上したものの**前年度比5.0%増の12億8百万円余**となり、平成27年度から5年連続**10億円台**となった。

## 令和元年度損益

(単位：千円) 税抜

科目	年度	令和元年度 (A)	平成30年度 (B)	比較	
				増減額 (A-B)	増減率 (A-B)/B
経常収益		6,514,410	6,500,178	14,232	0.2%
経常費用		5,224,694	5,349,195	△124,501	△2.3%
<b>経常利益</b>		<b>1,289,716</b>	<b>1,150,983</b>	<b>138,733</b>	<b>12.1%</b>
特別利益		0	0	0	—
特別損失		81,320	0	81,320	皆増
<b>純利益</b>		<b>1,208,396</b>	<b>1,150,983</b>	<b>57,413</b>	<b>5.0%</b>

## 1 電力の供給状況

風力発電は高森高原風力発電所の稼働率の増により増加したものの、水力発電で出水率の減により減少し、供給電力量は減となった。

(単位：千kWh)

区分	年度	令和元年度 (A)	平成30年度 (B)	比較		備考
				増減量 (A-B)	増減率 (A-B)/B	
水力 (16発電所)		486,256	532,403	△46,147	△8.7%	出水率の減による減(上半期の出水率が低かったことによる) (H30:102.8%→R元:88.8%)
風力 (2発電所)		60,245	56,112	4,133	7.4%	高森高原風力発電所の稼働率の増による増 (H30:94.3%→R元:99.3%)
太陽光		1,711	1,611	100	6.2%	12月から2月に太陽光パネルに着雪が少なかったことによる増
合計		548,212	590,126	△41,914	△7.1%	

## 2 経常収益の状況

水力発電は、出水率の減少などにより電力料収入が減(△86,608千円)となったが、固定価格買取制度(FIT)を適用している高森高原風力発電所の稼働率が高かったことにより風力発電の電力料収入が増(92,008千円)となったことから、前年度比14,232千円(0.2%)増の6,514,410千円となった。

## 3 経常費用の状況

高森高原風力発電所の市町村交付金が増となったものの、水力発電設備の修繕費の減などにより、前年度比124,501千円(2.3%)減の5,224,694千円となった。

## 4 特別損失の状況

北本内地点開発中止に伴う建設準備勘定(建設負担金45,475千円、委託費35,622千円等)の償却により、特別損失81,320千円を計上した。

## 5 経常利益、純利益の状況

以上の結果、経常利益は、前年度比138,733千円(12.1%)増の1,289,716千円、純利益は、前年度比57,413千円(5.0%)増の1,208,396千円となり、5年連続の10億円台となった。

なお、経常利益の経営目標に対する実績は次のとおりとなった。

(単位：千円) 税抜

区分	経営目標	実績	増減	備考
経常利益	971,000	1,289,716	318,716	電力料収入の増により、経常利益は増
経常収支比率	119.0%	124.7%	5.7ポイント	